

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	間質性肺炎急性増悪症例における血清フェリチン濃度の後方視的検討
研究責任者	須田隆文
研究機関名	浜松医科大学 内科学第2講座
研究目的と意義	非常に難治性である間質性肺炎の急性増悪症例における血清フェリチン濃度と臨床・検査所見、画像所見、治療反応性および予後との関連を検討する。血清フェリチンが治療反応性や予後と関連するようであれば、予後予測のバイオマーカーとしてのみでなく、新たな治療のターゲットとなる可能性も秘めている。
研究期間	西暦 2016 年 8 月（倫理委員会承認後） ～ 2019 年 7 月
研究方法	<p>●対象となる患者さん： 間質性肺炎の急性増悪症例</p> <p>●研究に使用する試料： (1) 胸部 CT 画像 (2) 血液検査成績 (3) 症状や病歴 (4) 治療反応性や生命予後 (5) 保存血清におけるフェリチンの測定値 (6) 肺生検組織あるいは肺剖検組織</p> <p>●研究方法 1990 年 1 月から 2016 年 3 月までに当院で診断した間質性肺炎の急性増悪症例を後ろ向きに検討する。保存血清においてフェリチン濃度を測定し、臨床症状や検査成績、画像所見、治療反応性および予後などとの関連を検討する。通常診療で実施された過去の治療に対する後ろ向き研究であり、新たな有害事象や患者さん負担の費用は生じない。</p>
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：保健管理センター（呼吸器内科） 担当者：榎本紀之 TEL：053-435-2263 FAX：053-435-2354 E-mail：nori@hama-med.ac.jp